

## 協同組合が結ぶ「つながり」の今

### 巻頭言

つながりの新しいかたちへ……土井 隆義 1

### 争論 協同組合は「つながり」をつくれるか?……2

01 商品が広げるマルチステークホルダーの「つながり」……兼子 厚之 3

02 多様なくらしを支える「つながり」と協同組合の役割……浜岡 政好 11

### 特集 協同組合が結ぶ「つながり」の今……19

01 保育園が結ぶ食を通じた人と人とのつながり……元橋 利恵 20

02 医療福祉生活協同組合が育む地域のつながり

～たまり場をとおした組合員、地域住民、行政間の交流……小田巻 友子 27

03 高齢者生協運動の展開～育んできた「つながり」に着目して……熊倉 ゆりえ 33

04 若者たちの「つながり」～大学生協学生委員会の今……奥田 祐樹 39

### くらしと協同をたずねて

環境生協から NPO 法人へ ～ NPO 法人碧いびわ湖の事業と運動……下門 直人 46

### 書評

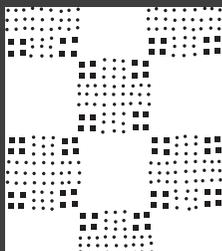
01 『絆の構造～依存と自立の心理学』 高橋 恵子 著……斎藤 真緒 52

02 『社会を結びなおす～教育・仕事・家族の連携へ』 本田 由紀 著……上掛 利博 54

投稿規定…… 56

バックナンバー／編集後記…… 57

小  
紋  
撰  
趣



### 表紙紋様「隅角通し市松の紋様」

市松文様とは、格子模様のひとつであり、起源は平安時代以前にも遡る石畳文様にあると言われていました。そして江戸中期、初代佐野川市松が歌舞伎「高野心中」で名を上げ、袴に使われていた石畳模様を市松文様と呼ぶようになりました。紋様名にある角通しとは四角形のみ  
の紋様を言い、この紋様では市松紋様の四隅に市松紋様を配置すること  
でさらに複雑な紋様に仕上げられています。  
京都生まれの歌舞伎役者が、江戸で市松模様を生み出し、それを京小  
紋においてさらに複雑な文様に一新した歴史の面白さを感じます。

田内隆司／京小紋画像提供 (田内設計事務所)